

令和8年度環境学習リーダー 養成講座

未来の地球・子どもたちのために私たちができること

オンライン
開催



- **日時**／10月5日・19日・29日
11月7日・19日【裏面参照】
午前の部 10時～、午後の部 14時～
☆全10講座 ☆1講座から受講可能
- **定員**／100名(応募多数の場合抽選)
- **対象**／神奈川県内在住、在勤、在学の高校生以上の方
☆8割以上出席した方には修了証を授与します！
- **参加費**／無料(受講に係る通信費用は受講者の負担となります。)
- **開催方法**／Zoomウェビナーによるオンライン開催(ライブ配信)
☆オンデマンドによる視聴も可能
- **講座内容**／環境の専門分野の講師による幅広い知識と環境活動実践者の活動例などを学び、地域での環境活動を実践する指導者をを目指すための基礎講座です。※全て座学講座です。※各講座の詳細内容はチラシ裏面参照
☆ライブ配信時は各講師に質問もできます！

申込み方法

◆「応募フォーム」または「ハガキ」

○応募フォーム○

右の二次元コードから応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

環境科学センターHP「講座・イベントのお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/event.html>

○ハガキ○

以下①～⑤の内容をご明記のうえ、下記の **申込み・問合せ先** までお送りください。

①申込み講座名(環境学習リーダー養成講座) ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな)

④電話番号 ⑤メールアドレス【①～⑤はすべて必須項目】

☆どちらも受付期間は**9月1日(火)～9月23日(水)(必着)**です。



令和8年度環境学習リーダー養成講座 < 日程表 >

日 時		タイトル	内 容	講 師
1日目 10月5日 (月曜日)	10時～	神奈川県の大気・水環境の現状と課題	私たちに身近な大気や水の環境について、環境基準や県が実施しているモニタリング調査などを紹介するとともに、調査結果を踏まえて県内の現状や課題をお伝えします。	神奈川県 環境科学センター 環境活動推進課 課長 武田 麻由子
	14時～	現場から見る清掃行政 ―ごみの向こうに人がいる―	ごみの向こうには、数多くの名もなき清掃労働者が私たちの生活環境を維持するために献身的に働いています。その実態を知り、今後の清掃行政のあり方を考えていく一助となる講義を目指します。	立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 藤井 誠一郎 氏
2日目 10月19日 (月曜日)	10時～	食品ロスの現状と課題・削減に向けた取組について	食品ロスは生産、製造、販売、消費等の各過程で発生し、削減には事業者、県民がこの問題を自分事として捉え、行動することが必要です。そこで食品ロスの現状と課題や削減に向けた具体的な取組等についてお話しします。	神奈川県 資源循環推進課 主事 佐藤 菜緒
	14時～	開発アプローチの歴史的変遷と持続可能な開発目標 (SDGs)	本講演は、持続可能な開発目標 (SDGs) 採択前のMDGs、IDGsも取り扱い、戦後の開発アプローチの歴史的変遷、持続可能な開発の概念の進展を踏まえるとともに、SDGsの内容と特徴、世界観、今日的状況、今後の展望を述べるものである。日本で直面している様々な社会課題も取り扱うことを通してより身近な理解 (自分ごと化、私たちごと化) を促すとともに、統合的問題解決や価値共創にむけた参加のしくみと協働のデザインについて提案を行う。	東京都市大学大学院 環境情報学研究科 教授 佐藤 真久 氏
3日目 10月29日 (木曜日)	10時～	海洋酸性化：変わりゆく海洋環境と生き物への影響	人間活動によって放出された二酸化炭素の一部は海に吸収され、海は徐々に酸性化しています。この現象は「海洋酸性化」と呼ばれます。本講座では、その仕組みと生き物への影響についてわかりやすく解説します。	東京海洋大学 准教授 今 孝悦 氏
	14時～	生物多様性とは何か？～神奈川県のモリアオガエルの遺伝的系統～	生物多様性はなぜ保全しなければならないのでしょうか。本講演では、生物多様性の意義と保全の必要性について解説します。さらに、国内移入種を例に、生物多様性保全が抱える課題や方針について考えます。	日本大学 生物資源科学部 環境学科 准教授 炭山 大輔 氏
4日目 11月7日 (土曜日)	10時～	日々の暮らしから実践する脱炭素、資源循環	ごみを資源として国内循環する取り組みがあらゆる分野で進行中、私たち一人一人がにない手です。	(非営) 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長、環境カウンセラー 鬼沢 良子 氏
	14時～	①環境学習の進め方について ②食品ロス削減を児童にどう伝えていくか～事例紹介を中心に～	①「環境学習の進め方について」を主題として、「環境学習とは何か」、「環境学習事例」、「講座を進める上での注意点」等について解説を行います。 ②食品ロスをテーマとした教室の中で、食品ロスの問題点をわかりやすく伝え、削減に向け児童に行動変容を促すために行っている出前授業の事例を紹介いたします。	① (非営) 神奈川県環境学習リーダー会 代表理事 吉岡 嗣二郎 氏 ②サステナビリティ教育研究会 代表 日吉 栄一 氏
5日目 11月19日 (木曜日)	10時～	市民活動組織(NPO)について	ボランティア活動をはじめとする、市民の公益的な活動を支える組織の成り立ちや運営方法を、実例とともに解説し、今後について考えます。	(一社) ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚 明美 氏
	14時～	土壌汚染問題の現状とリスク管理	土壌汚染が顕在化し社会問題となることが少なくありません。本講義では土壌汚染問題の現状や課題について解説するとともに、土壌汚染対策法による対応状況や、リスクに基づく管理の考え方について解説します。	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 小林 剛 氏

※各講座は、受講申し込み者に限りオンデマンド視聴が可能です。

※Zoomの視聴用URLやその他の連絡はお申込時に登録されたメールアドレス宛にお送りいたします。